

創立120周年記念事業「教育環境整備事業」 ～合宿所から「桂雪会館」へ～

同窓会係 渡辺 藤夫

(1) 合宿所改修の経緯

飯山高校の校地の北東の位置、自転車置き場の南側に合宿所があります。平成元年から全ての県立高校に設置された施設で、本校の合宿所は、飯山北高校の剣道場を壊してH2年3月に建てられました。鉄骨コンクリート2階建て 延べ面積 276 m²で1階は、食堂兼ミーティングルーム・トイレシャワー室・管理室、2階は研修室が2部屋ありました。当初は、新入生の合宿研修やクラブ活動の合宿に使われてきました。また、調理施設を使って、クラブやクラスの大会・行事の打上げやミーティングに使われました。

平成20年以降は、ボイラー等の故障により、合宿は行われず、主として弦楽器部・百人一首部・軽音楽同好会の練習場所として使われてきました。屋根・外壁は傷んできており、内部も痛みが激しい状態でしたが、県の改修予算もつかないことから、創立120周年記念事業として改修を行い、休日の生徒の学習室や同窓会館としての機能も加えながら有効利用しようということになりました。



【改修前の合宿所の様子】

(2) 改修の内容と改修工事

外装については、屋根のオーバー工法によるカラー鉄板葺き、外壁は吹き付け塗装を行いました。

内部については、1階ホールの改修で、シャワー室・管理室の撤去と床のフローリング化・壁天井張り替えと照明のLED化を行いました。食堂兼ミーティングルームは床と壁はそのまま、照明のLED化とエアコンの設置を行いました。2階については、2部屋とも畳部屋でしたが、押し入れを撤去して床のフローリング化、壁天井張り替え、そして照明のLED化とエアコンを設置しました。

記念事業の計画を始めた令和3年当時の見積もりでは、2000万円弱でしたが、その後の資材や燃料費、人件費の値上げ、そしてエアコンの設置が追加されたことから2300万円の予算が必要となりました。120周年記念事業のための募金では、篤志寄付が約1200万円、市町村からの補助金が200万円、120周年記念事業の残金(一般寄附による)が約100万円でした。不足分については、飯山北高校が閉校する際に桂蔭会で行った募金による飯山高校支援金から約280万円、甲子園出場実行委員会会計から必要な金額を出していただいて資金の目途が立ったことから、令和5年の7月末から改修工事を開始することができました。

順調に工事が進むかと思えた矢先、屋根の改修の際に垂木に当たる鉄骨が積雪によって変形していることが分かりました。せっきくの機会なので、トイレの洋式化も追加工事として考えていたのですが、急遽、屋根の補強工事を行う必要が出てきた為に、トイレの改修は見送りとなりました。建物の北側には、軒を支える鉄骨が2本設置されました。これにより、総額2560万円程の費用がかかりましたが、10月末に完成しました。見違えるほどきれいになった施設は、今後、有効活用させていただきます。



【改修工事後の合宿所の様子】



（３） 通称「桂雪会館」に

合宿所の名称については、すでに合宿所の機能をはたしていなかったことから、創立120周年記念事業の際には、「地域・教育交流会館（仮称）」としていましたが、文字数が多く、難しい名称なので「なじめない」などのご意見をいただきました。簡潔でなじみやすく愛着がわくようにと事務局で考えた結果、「桂雪会館」と名付け、学校にも了解を得ました。同窓会館の役割も果たせるように、会議を行ったり、同窓会の財産を展示したりしたいと思います。また、篤志寄付をいただいた方々の芳名板も入口に設置し、木製の看板も入口に設置する予定です。

最後に、記念事業を実施するにあたりご協力をいただいた同窓会の皆様、厳しい経済状況の中、ご寄附をいただいた皆様、そして改修工事の設計や実際に工事をしていただいた業者の皆様にお礼を申し上げ、「合宿所改修工事」完了の報告とさせていただきます。